

今さら聞くに聞けない 店のルーツと屋号 教えて頂きました



◎明治33年創業

- ◎スタッフ＝家族3名
- ◎屋号の由来＝名付親の初代の氏名が林太郎。『木』は木が二つあるので店名としました。現店主は4代目。
- ◎営業内容＝いなり寿司の折詰【お持ち帰りのみ】
- ◎客層＝神社参拝のおみやげとして中高年層。女性客の割合が多いです。
- ◎店主の想い＝お客様の感想でも、笠間には落ちついたいい町ですわといわれます。名高い笠間稲荷の最も身近な信仰の街として、よい景観の門前通りにとわが、といます。
- ◎他に＝店内には来店客に笠間の印象などについて自由に感想を書いて頂き、交流をはかるためにノートやサイン用紙を置いてあります。住所、氏名なども書かれ県内近県からの観光客の様子がわかります。招待したフクシマ被災の子供たちや保護者の方のサインもあります。



◎大正14年創業

- ◎スタッフ＝夫婦と従業員1名
- ◎屋号の由来＝喜楽町で開店したのが自然にお客さんからキラクヤと呼ばれたそうです。
- ◎営業内容＝青果と食料品全般。
- ◎客層＝地元の方々。
- ◎経過＝昭和6年、現在の木村屋さんの馬車場の通りと、松島さんの界隈に呉服屋、酒屋、待合、甚悦置屋、魚屋そば屋等あり、放火による大火で全焼。その時にキラクヤも火焼出されました。現在地には昭和9年頃店を構えました。

ポケットパークを考える

案内板が古くなったためリニューアルが求められている。この機にポケットパークの活用方法を再考してみよう。12月4日 かさまち考委員会で現地踏査を実施しました。

かさまち考委員会の提案です。【アイデア募集中】



- 活用方法
- ① 来訪者が滞留し、息つくスペース。
 - ② つつしまつり、菊まつり時期の展示スペース。
 - ③ イベントのステージとして。
 - ④ 観光情報を確認するスペース。

笠間稲荷門前通り通信

第4号 平成25年1月

道路整備方針が概ね合意されました！

12月20日の全体会において、路面素材、待避所の設置、鳥居型モニュメント灯の設置など、門前通り整備の方針について概ね合意されました。

道路整備の方針

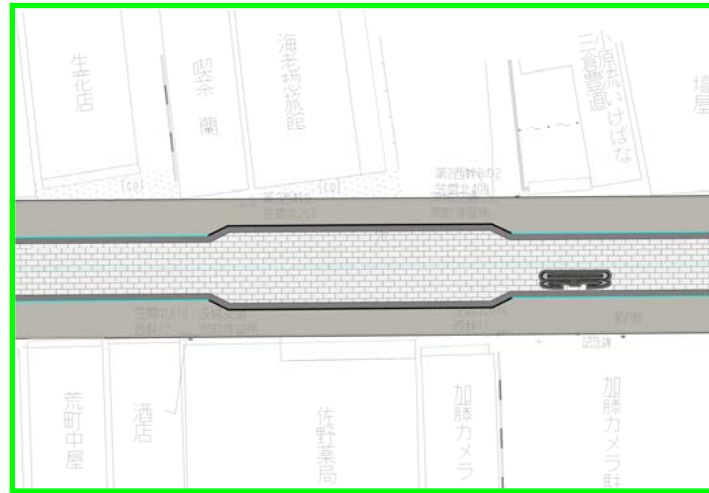
- ① 歩行者に配慮した道路にするため、車道幅員を基本5.0mとして、歩道幅員を拡幅する。
- ② 車道は、センターラインが無い対面通行とする。
- ③ 大型車等の交通規制は現行のままとする。(大型貨物は進入禁止。大型観光バス等は通行可。)
- ④ 景観に配慮した整備とし、地場産材を積極的に活用する。
- ⑤ 車道は、全面御影石舗装とする。
- ⑥ 歩道は、排水性カラーアスファルト舗装を基本とする。ただし、笠間稲荷神社参道前の歩道は御影石舗装。
- ⑦ 催事、イベントにおける歩行者天国を考慮し、車道と歩道の段差が無い道路とする。
- ⑧ 歩行者、自転車の安全を確保するため、待避所を2箇所設置する。
- ⑨ 歩行者の安全を確保するため、交差点付近等に車止めの設置を検討する。
- ⑩ 現在の街路灯の老朽化を考慮し、道路整備と合わせて改修する。
- ⑪ 東西の通り入口付近には、鳥居を模したモニュメント灯を設置する。
- ⑫ 雨水排水を考慮した道路整備を行う。

平成25.26年度、2年ごの整備実施に向け、さらに協議を進めてまいります。

門前通り協議会
今後の予定

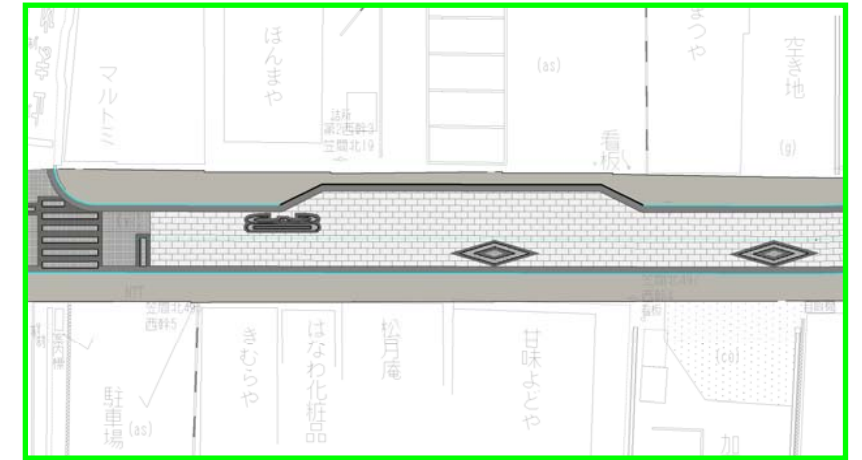
第10回かさまち考 日時・平成25年2月7日(木)
午後7時から
会場・笠間稲荷神社

笠間稲荷門前通り整備イメージ



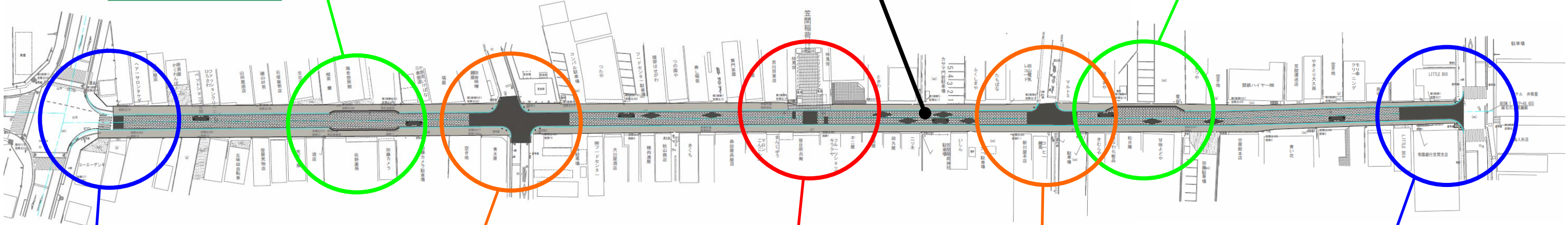
【歩道舗装材】
排水性
カラーアスファルト

【車道舗装材】
御影石



待避所の設置

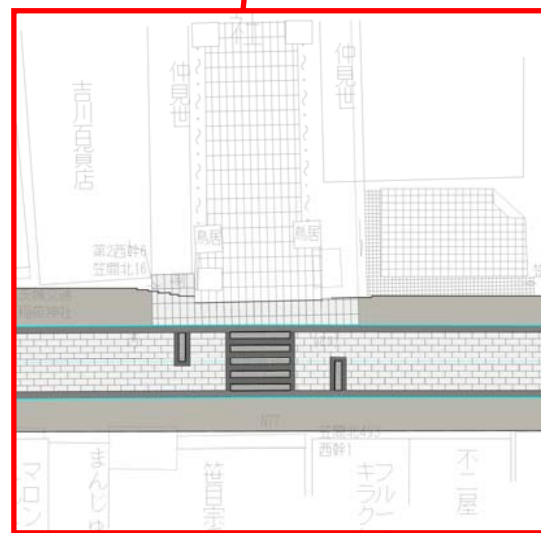
待避所の設置



鳥居型照明の設置
車止めの設置



車止めの設置



神社前の歩道石張り範囲
車止めの設置

車止めの設置



鳥居型照明の設置
車止めの設置